

センバツあす開幕

第96回選抜高校野球大会は(東京)と激突。青森山田は阪神甲子園球場で18日に開幕し、青森県からは東北地区代表として青森山田と八学光星の2校が出場する。八学光星は18日の開幕試合で関東第一

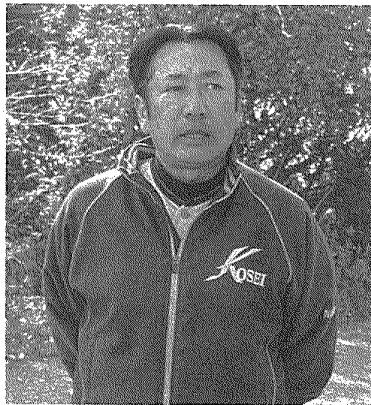
(東京)と激突。青森山田は21日の第3試合で京都国際と対戦し、それぞれ初戦突破を狙う。八学光星は16日の大体大浪(大阪)との練習試合で、

18日
光 星 × 関東第一 (東京)

は10番を背負う。機動力が高く、強打者の高橋徹平の前に走者を出さないことがポイントとなる。

青森山田は16日、元監督でアドバイザーの澁谷良弥氏が見守る中、紅白戦を行った。主砲原田純希が1発を放ち、長打力をアピール。関浩一郎、櫻田朝のダブルエースも制球が安定し、好調ぶりをつかが

18日の試合
「回戦」
▽第1試合(10時30分) 八学光星(青森)ー関東第一(東京)
▽第2試合(1時) 田辺(和歌山)ー横浜(神奈川)
▽第3試合(16時30分) 近江(滋賀)ー熊本(熊本)
(熊本)



八学光星の仲井宗基監督

第96回選抜高校野球大会の開幕試合(16日午前10時半開始予定)で対戦する八学光星の仲井宗基監督と、関東第一(東京)の米澤貴光監督が16日までに本紙などの取材に応じ、相手の印象や勝負の鍵を握る選手について語った。

(千葉雄也)

両監督に聞く

洗平の球速、球威増した 光星

「相手の印象は。今年は投手力が高く、機動力もあっていろいろ仕掛けることができるチームだと思う。振り回されないようにしたい。3、4、5番に力はあるが、その前の1、2番を特に警戒したい。」
新基準バットへの対応は。「飛ばしたい」という意識が働き、序盤は思い通りにいかない感じだったが、「飛ばない」と気にし過ぎていたことに気付いた。冬に力を付けてきた成果が結果として出てきたので、手球速、球威とも増しており、投手の洗平比呂は冬の間、球速、球威とも増しており、結果として出てきたので、手

チームに勢いを与えたい

⑰鈴木朝日(投手、2年)
=三沢五中出=



関西に入ってから調子が上がり気味だった調子は、だんだん上がってきた感じがしています。最初から飛ばさず、甲子園練習でマウンドに上がりました。チームが勢いに乗っていきけるようなプレーができれば、個人的には、140km/hを超えるストライクを投げたいと思っています。

甲子園だより